

TOTO

マーブライトカウンター奥行スリムキャビネット

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。

1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

- この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。
- お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。

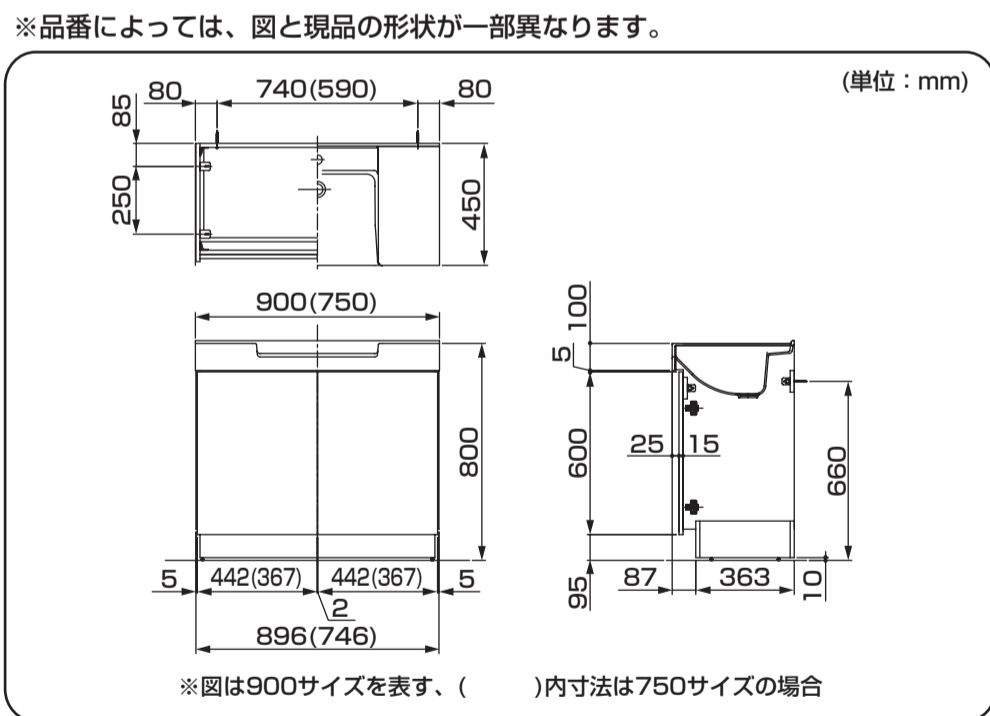
注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負うことが想定される内容、および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。	!	は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。
-----------	--	----------	---------------------------------------

注意	
<p>キャビネットの取り付けは、取付方法に従って、確実に行う</p> <p>取り付けに不備があると、キャビネットが転倒して、けがをするおそれがあります。</p>	
<p>開梱後、不要になった梱包材は速やかに処分する</p> <p>段ボールや締め付けバンドなどでけがをするおそれがあります。また、ビニール袋などは子供などが、かぶって遊び、思わぬ事故につながるおそれがあります。</p>	
<p>工事完了後、キャビネットの固定、扉の傾き・ガタツキ、丁番のゆがみがないかを必ず確認する</p> <p>設置が不完全な場合、キャビネットが倒れたり、扉が落下して、けがをするおそれがあります。</p>	

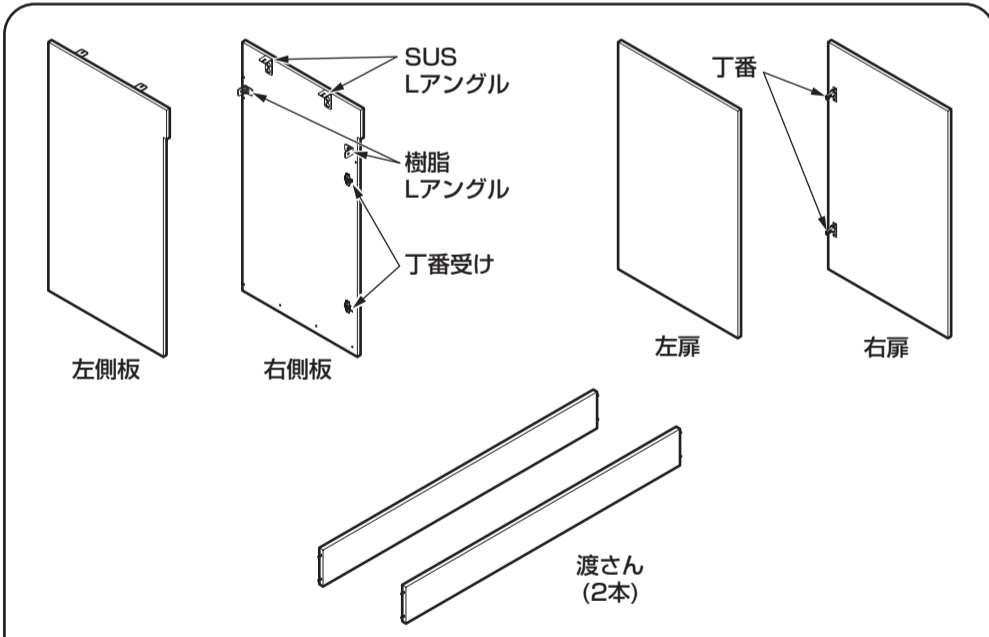
2 取り扱い、施工上の注意

- 硬いものを落としたり、ぶついたりしないでください。キャビネットにひびが入ったり、欠けたりすることがあります。
- 熱にご注意ください。直射日光、火のついたタバコなどはキャビネットのそりや変色の原因になります。
- 洗剤にご注意ください。タイル洗いなどの洗剤がキャビネットにかからないようにしてください。万一、かかった場合はすぐに水洗いしてください。
- キャビネットを破棄処分する場合は、許可を受けている処理業者に処理を依頼してください。
- 養生フィルムは内装仕上げなどすべての工程が完了するまで取り除かないでください。

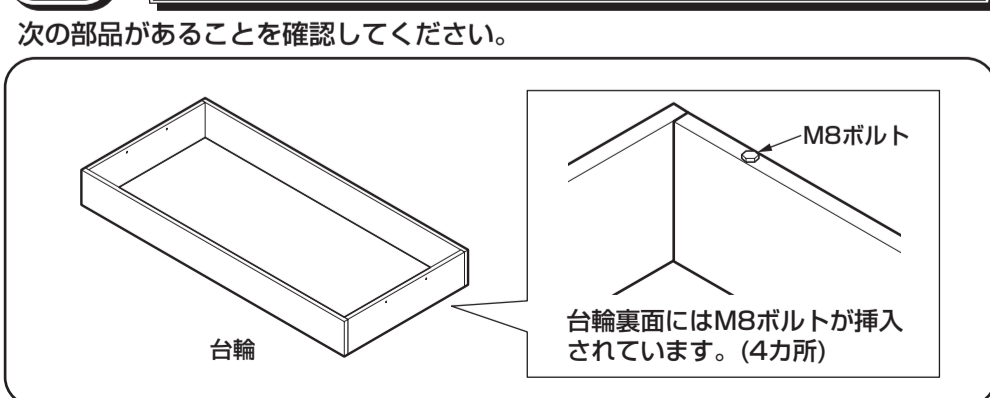
3 完成図 (例)



4-2



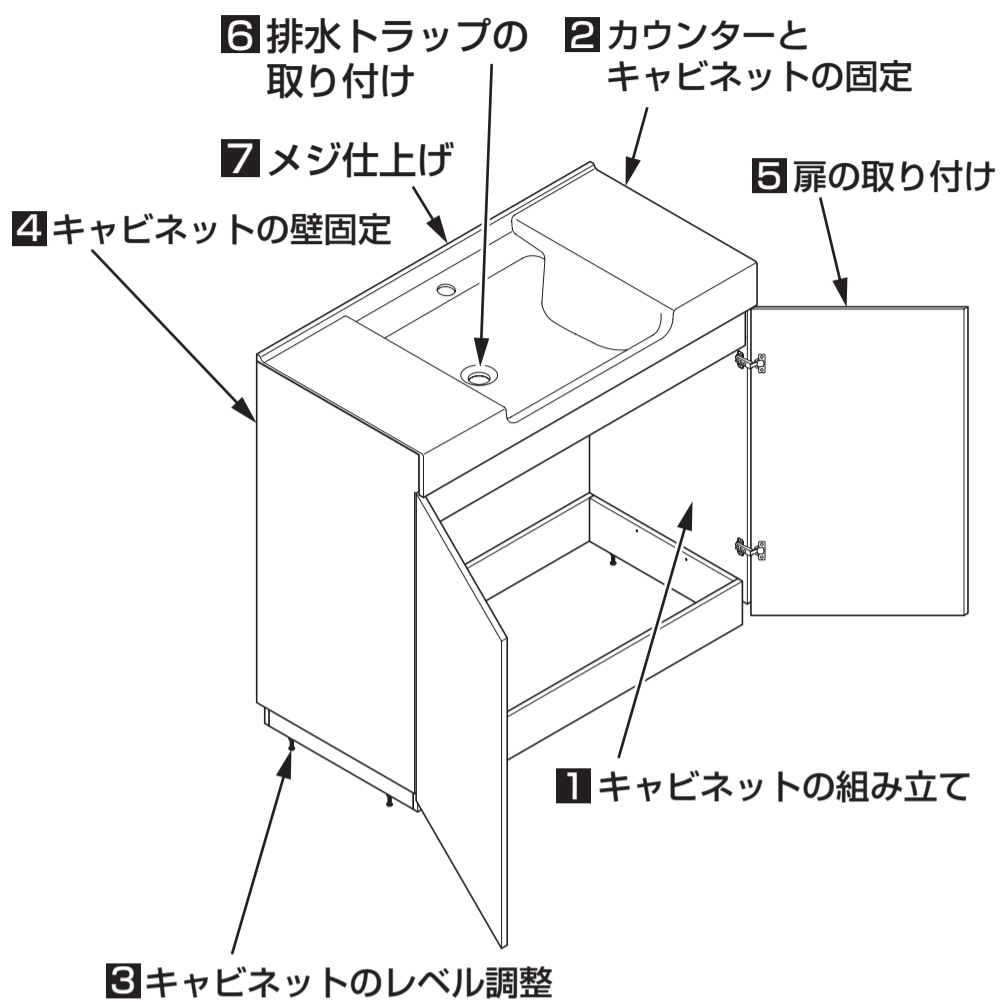
4-1 部品の確認



<p>木ねじ SUS (φ3.5×30 4本)</p>	<p>木ねじ SUS (φ5.8×63 2本) 樹脂プラグ (2本)</p>	<p>クッションテープ (2本)</p>
<p>木ねじ SUS (φ4.5×14 8本)</p>	<p>施工説明書</p>	<p style="text-align: center;">必ずお客様にお渡しください</p> <p>取扱説明書</p>

※図と現品の形状が一部異なります。

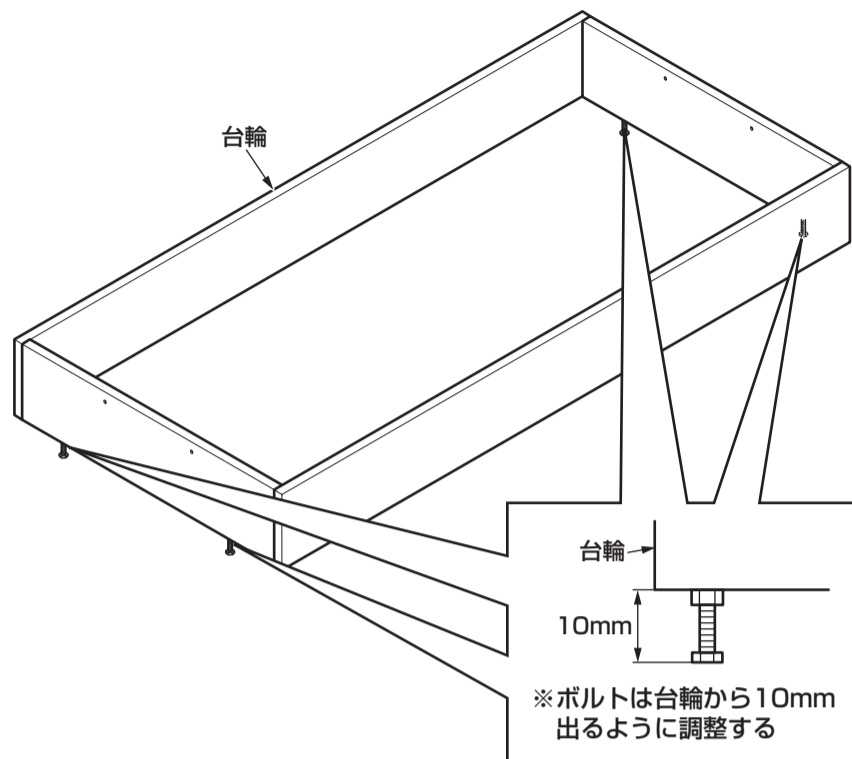
5-1 施工手順



※水栓(別売、別梱包)の取り付けは、水栓に同梱の施工説明書を確認する。
※専用排水金具は別売、別梱包です。

1-1 キャビネットの組み立て

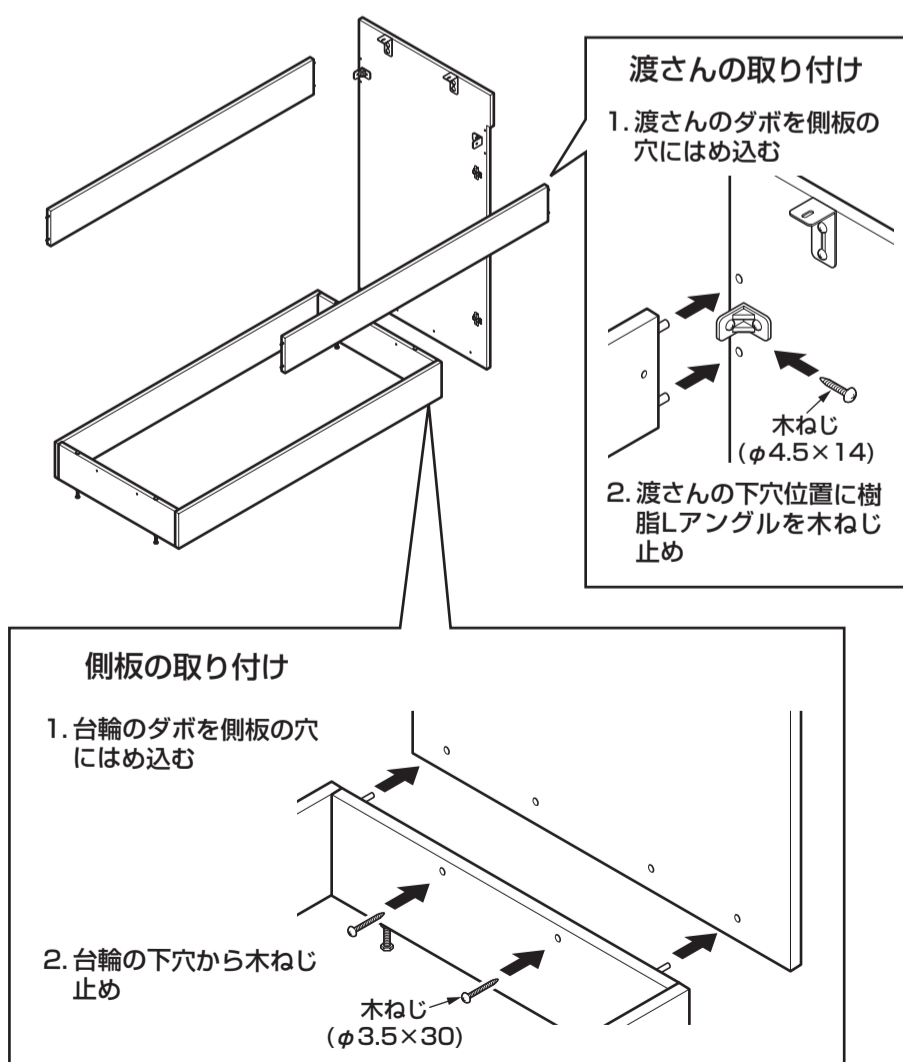
①台輪に挿入されているボルトの出度を調整する。



5-2

1-2 キャビネットの組み立て(つづき)

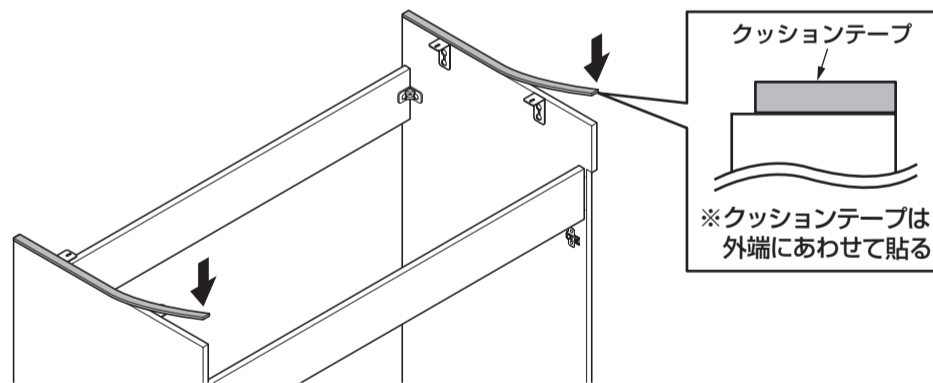
②台輪に左右いずれかの側板、渡さんを取り付ける。



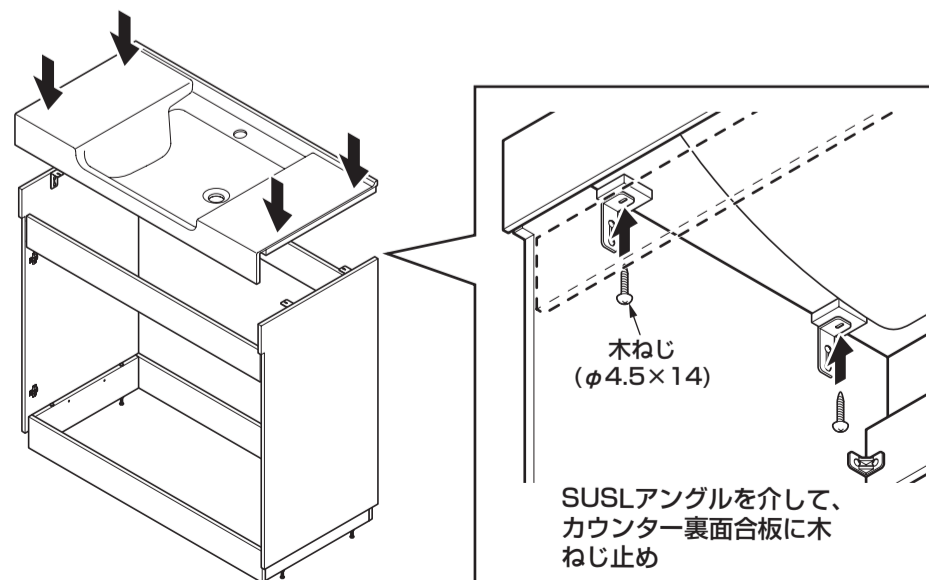
③同様に残りの側板を取り付ける。

2 カウンターとキャビネットの固定

①側板上面にクッションテープを貼る。

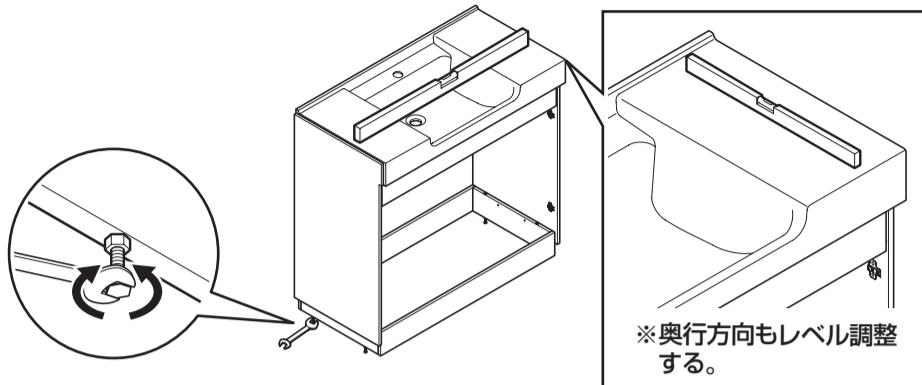


②カウンターを取り付ける。



3 キャビネットのレベル調整

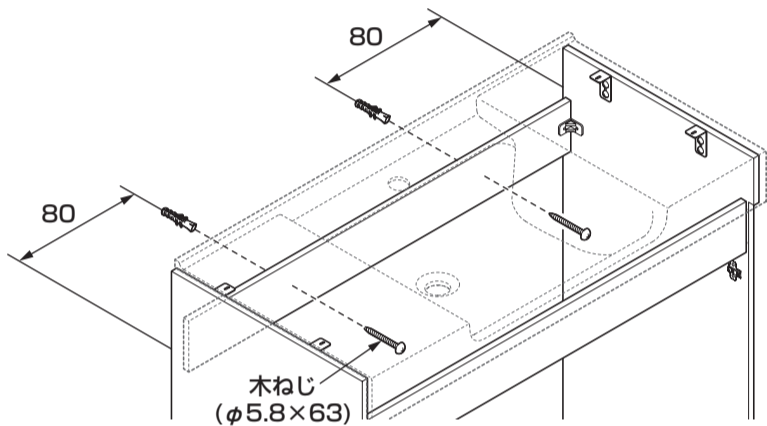
アジャスターボルトを調整して水準器でレベル調整する。



4 キャビネットの壁固定

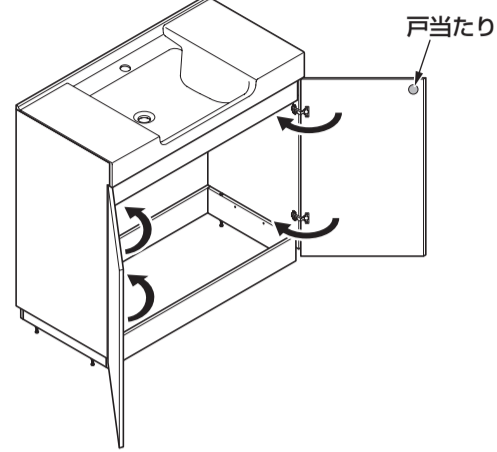
キャビネットの固定は下図のように後方上側の渡さん2カ所を木ねじ(φ5.8×63)で固定する。

- ※渡さんには下穴があいておりませんのでφ4.5ドリルにて下穴をあけてください。
- ※木造壁の場合はキャビネットを設置したまま、壁まで下穴をあけてください。
- ※コンクリート壁・ALC壁の場合は渡さんに下穴をあけた後、キャビネットをすらし壁にφ8.0コンクリートドリルで下穴をあけ、コンクリートプラグを打ち込み、固定してください。



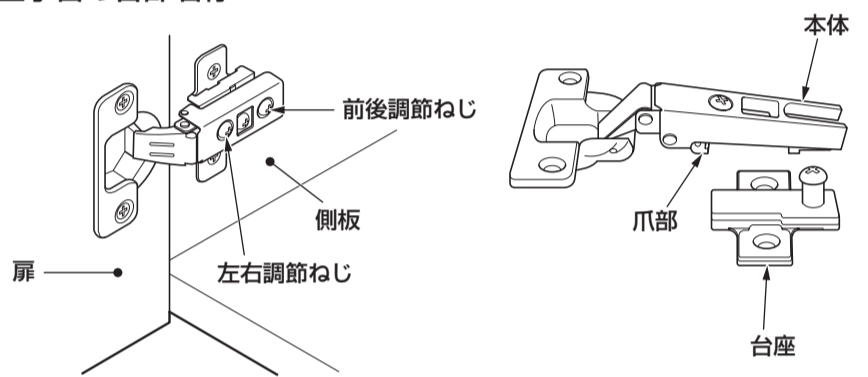
5.1 扉の取り付け

- ①扉を側板に取り付ける。
扉には上下があるので、戸当たりがある方を上に取り付ける。



- ②扉の前後、左右を調整する。
左扉と右扉のすき間は2mm程度となるように調整する。

■丁番の各部名称



5.2 扉の取り付け(つづき)

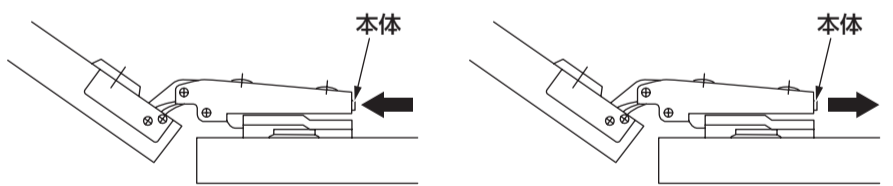
■扉の着脱方法

●外しかた

前後調節ねじをゆるめ、スライド丁番本体を引き抜きます。

●取り付けかた

前後調節ねじをゆるめ、スライド丁番本体を差し込み、しっかりねじを締めます。

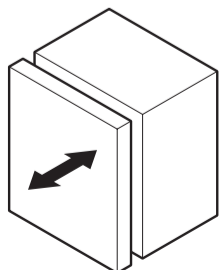


※本体がきちんと台座に装着されているか確認してください。

■扉の調整方法

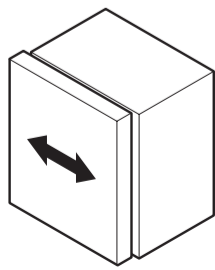
前後調節

前後調節ねじをゆるめ、扉を前後に動かし、適当な位置を選び、しっかりねじを締めます。



左右調節

左右調節ねじを左右に回して、適当な位置を選んでください。

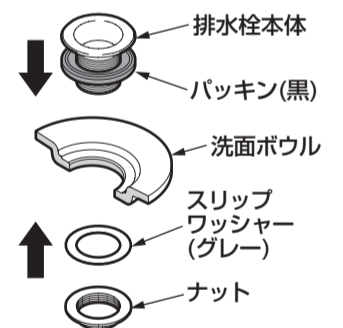


6 排水トラップの取り付け

- ①排水栓本体の取り付け
排水栓本体を洗面ボウルにナットで固定する。

注意

- 排水栓本体についているパッキンは外さないでください。
- 従来の三角パッキンは不要です。
- スリップワッシャーの位置に注意してください。



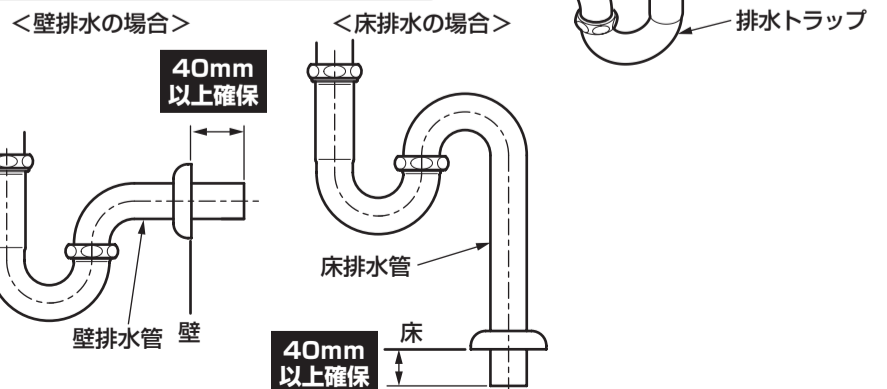
- ②排水直管の固定
排水直管を排水栓本体に袋ナットで固定する。その際、取り外したパッキンを必ず袋ナットと排水直管の間に入れる。

注意

取り外したパッキンを必ず入れてください。

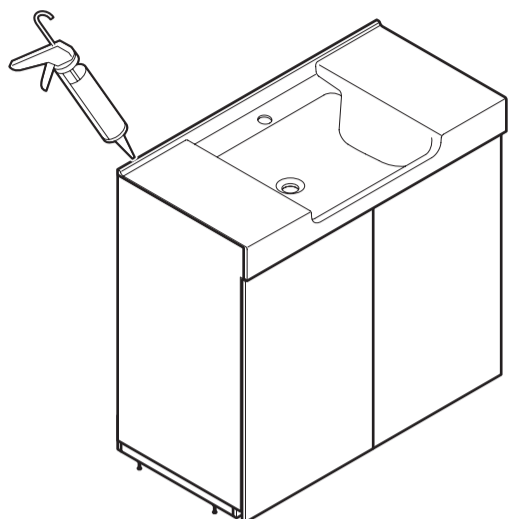
- ③排水トラップの取り付け
排水トラップを取り付ける。

壁排水管および床排水管は、施工誤差による差し込み不足防止のため、排水管を長めに設定しております。取付時は差し込み代を40mm以上確保し、パイプカッター・ノコなどで必要な長さに切断して使用してください。



7 メジ仕上げ

カウンターが壁に接する面をメジシールする。

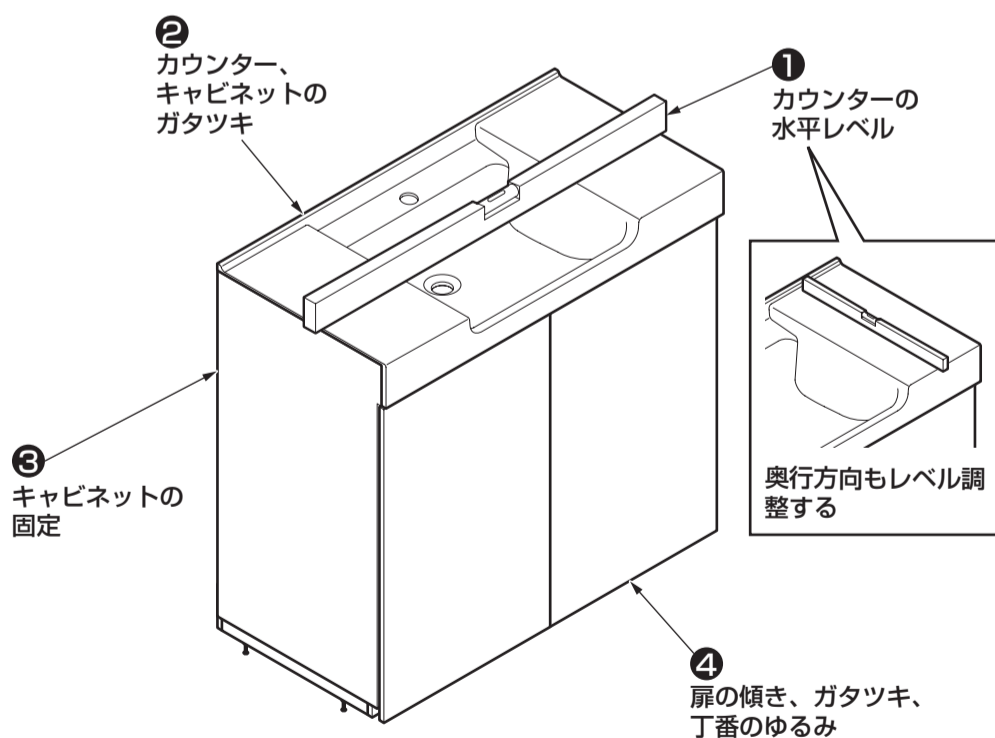


注意

すべての施工が終わったあと、養生フィルムを取り除き、乾いた柔らかい布でからぶきしてください。特に、カウンターおよびキャビネット表面に残ったメジシールはきれいにふき取ってください。

6 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



① カウンターの水平レベルで出ていますか？

↳ 5.3 - ③「キャビネットのレベル調整」参照

② カウンター、キャビネットのガタツキはないですか？

↳ 5.1 - ①「キャビネットの組み立て」参照

↳ 5.2 - ②「カウンターとキャビネットの固定」参照

③ キャビネットの固定はできていますか？

↳ 5.3 - ④「キャビネットの壁固定」参照

④ 扉の傾き、ガタツキ、丁番のゆるみはないですか？

↳ 5.3 - ⑤「扉の取り付け」参照

⑤ 排水トラップ、カウンター排水口からの水漏れはないですか？

↳ 5.4 - ⑥「排水トラップの取り付け」参照

注意



必ず実行

工事完了後、キャビネットの固定、扉の傾き・ガタツキ、丁番のゆがみがないかを必ず確認する

設置が不完全な場合、キャビネットが倒れたり、扉が落下して、けがをするおそれがあります。

